

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月30日

上場会社名 株式会社ナガワ 上場取引所 東
コード番号 9663 URL <https://group.nagawa.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新村 亮
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 久納 正義 (TEL) 03-5288-8666
管理本部副本部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	14,944	3.7	1,792	△12.2	2,016	△11.9	1,313	△18.1
2023年3月期第2四半期	14,414	0.9	2,042	△1.6	2,289	1.8	1,603	7.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,778百万円(94.2%) 2023年3月期第2四半期 1,430百万円(△14.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	83.54	—
2023年3月期第2四半期	102.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	60,392	55,314	91.6
2023年3月期	58,806	53,480	90.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 55,314百万円 2023年3月期 53,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	10.6	5,200	20.7	5,400	15.5	3,700	18.2	235.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	16,357,214株	2023年3月期	16,357,214株
2024年3月期2Q	636,507株	2023年3月期	633,507株
2024年3月期2Q	15,721,907株	2023年3月期2Q	15,720,730株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足資料説明については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円、銭)
当連結累計期間	14,944	1,792	2,016	1,313	83.54
前連結累計期間	14,414	2,042	2,289	1,603	102.00
前年同期増減率(%)	3.7	△12.2	△11.9	△18.1	△18.1

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和による企業収益や個人消費、インバウンド需要の改善により緩やかな景気回復傾向にありました。その一方で、人手不足の深刻化と実質賃金の低下もあり、海外経済においては、ウクライナ情勢の長期化や世界経済の減速等から先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、今後の需要拡大を見据えた展示場の拡充や移転、新規開設による積極的な投資を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は149億4千4百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益は17億9千2百万円(前年同期比12.2%減)、経常利益は20億1千6百万円(前年同期比11.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億1千3百万円(前年同期比18.1%減)となりました。

セグメント別の概要は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	連結損益計算書 計上額
	ユニット ハウス事業	モジュール・ システム建築 事業	建設機械 レンタル事業	計		
売上高	12,421	1,979	544	14,944	—	14,944
営業利益	1,532	304	△24	1,812	△19	1,792

(ユニットハウス事業)

ユニットハウス事業におきましては、販売は第1四半期に引き続き全国一斉販売キャンペーンを常設展示場で実施し、個人における新たな需要を喚起して販売拡大に努めてまいりました。レンタルは営業強化による受注拡大と配送体制の効率化による供給体制強化により、稼働棟数を前年同期より増加することができました。

この結果、当事業のセグメント売上高は124億2千1百万円(前年同期比0.7%減)となりました。また、セグメント利益は、15億3千2百万円(前年同期比17.4%減)となりました。

(モジュール・システム建築事業)

モジュール・システム建築事業におきましては、前期より開設を開始したモジュール建築展示場をさらに新設、拡充して8事業所から15事業所とし、受注拡大に努めてまいりました。

この結果、当事業のセグメント売上高は19億7千9百万円(前年同期比38.6%増)となりました。また、セグメント利益は、3億4百万円(前年同期比89.6%増)となりました。

(建設機械レンタル事業)

建設機械レンタル事業におきましては、第1四半期に引き続き、営業エリアである北海道南部建設市場の公共工事発注金額が減少傾向にある環境下を鑑み、民間企業への営業活動強化に努めてまいりました。

この結果、事業のセグメント売上高は5億4千4百万円(前年同期比15.2%増)となりました。また、セグメント損失は、2千4百万円(前年同期のセグメント利益は4千8百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ33億2百万円減少し、201億2千5百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が21億9千5百万円、契約資産が7億1百万円、売掛金が5億8千7百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ48億8千8百万円増加し、402億6千6百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券が30億9千8百万円、貸与資産が11億8千2百万円、建物及び構築物が6億2千1百万円それぞれ増加した一方、繰延税金資産が1億3千7百万円、建設仮勘定が8千3百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ15億8千6百万円増加し、603億9千2百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ7億6千5百万円減少し、44億8千万円となりました。その主な要因は、買掛金が5億6千2百万円、未払法人税等が8千2百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ5億1千6百万円増加し、5億9千6百万円となりました。その主な要因は、繰延税金負債が5億2千3百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億4千8百万円減少し、50億7千7百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ18億3千4百万円増加し、553億1千4百万円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が14億7千万円、利益剰余金が3億6千9百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、91.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ21億9千5百万円減少し、86億7千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、8億8千1百万円（前年同期は6千8百万円の使用）となりました。主な増加要因は税金等調整前四半期純利益が19億7千1百万円、減価償却費が16億9千4百万円、売上債権の減少額が12億1千8百万円等であり、主な減少要因は貸与資産の取得による支出が27億4百万円、法人税等の支払額が7億2千4百万円、仕入債務の減少額が5億6千2百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は21億4千万円（前年同期比154.8%増）となりました。その主な要因は、投資有価証券の取得による支出が12億7千万円、社用資産の取得による支出が10億9千7百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は9億3千6百万円（前年同期比8.4%減）となりました。主な減少要因は配当金の支払額が9億3千6百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

なお、今後の見通しにつきましては、引き続き検討を行い、連結業績予想に関し修正の必要が生じた場合には速やかに開示するものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,870	8,674
受取手形	1,372	1,264
電子記録債権	1,618	1,797
売掛金	4,559	3,972
契約資産	815	113
商品及び製品	2,708	3,282
仕掛品	267	273
原材料及び貯蔵品	922	546
その他	293	201
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	23,428	20,125
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	11,541	12,723
建物及び構築物（純額）	2,437	3,058
土地	7,340	7,505
建設仮勘定	245	162
その他（純額）	212	251
有形固定資産合計	21,777	23,701
無形固定資産	244	222
投資その他の資産		
投資有価証券	12,193	15,291
敷金及び保証金	683	732
退職給付に係る資産	12	28
繰延税金資産	137	—
その他	329	290
貸倒引当金	—	△0
投資その他の資産合計	13,356	16,342
固定資産合計	35,378	40,266
資産合計	58,806	60,392

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,777	2,215
未払法人税等	768	685
賞与引当金	280	262
役員賞与引当金	69	38
資産除去債務	1	2
その他	1,347	1,277
流動負債合計	5,246	4,480
固定負債		
長期末払金	24	24
資産除去債務	52	45
繰延税金負債	—	523
その他	2	2
固定負債合計	80	596
負債合計	5,326	5,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,855	2,855
資本剰余金	8,855	8,855
利益剰余金	42,996	43,366
自己株式	△1,820	△1,820
株主資本合計	52,887	53,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	608	2,078
為替換算調整勘定	△15	△20
その他の包括利益累計額合計	593	2,057
非支配株主持分	—	—
純資産合計	53,480	55,314
負債純資産合計	58,806	60,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	14,414	14,944
売上原価	8,303	8,759
売上総利益	6,110	6,185
販売費及び一般管理費	4,068	4,392
営業利益	2,042	1,792
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	171	208
受取賃貸料	7	10
受取補償金	43	—
為替差益	23	6
雑収入	14	13
営業外収益合計	266	246
営業外費用		
株式報酬費用	18	21
雑損失	0	0
営業外費用合計	19	22
経常利益	2,289	2,016
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	0	12
特別利益合計	4	12
特別損失		
固定資産処分損	4	37
子会社整理損	10	—
災害による損失	—	20
特別損失合計	14	57
税金等調整前四半期純利益	2,278	1,971
法人税、住民税及び事業税	625	642
法人税等調整額	49	15
法人税等合計	675	657
四半期純利益	1,603	1,313
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,603	1,313

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,603	1,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154	1,470
為替換算調整勘定	△18	△5
その他の包括利益合計	△172	1,464
四半期包括利益	1,430	2,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,430	2,778
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,278	1,971
減価償却費	1,484	1,694
のれん償却額	5	5
貸与資産の売却原価	11	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△36	△31
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△1	—
株式報酬費用	37	39
受取利息及び受取配当金	△178	△214
受取補償金	△43	—
為替差損益(△は益)	△23	△6
固定資産処分損益(△は益)	0	36
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△12
子会社整理損	10	—
災害による損失	—	20
貸与資産の取得による支出	△2,441	△2,704
売上債権の増減額(△は増加)	898	1,218
棚卸資産の増減額(△は増加)	△997	△203
仕入債務の増減額(△は減少)	△445	△562
その他	△88	151
小計	471	1,410
保険金の受取額	2	—
利息及び配当金の受取額	192	216
補償金の受取額	38	—
法人税等の支払額	△772	△724
災害による損失の支払額	—	△20
営業活動によるキャッシュ・フロー	△68	881
投資活動によるキャッシュ・フロー		
社用資産の取得による支出	△809	△1,097
社用資産の売却による収入	5	0
投資有価証券の取得による支出	△1	△1,270
投資有価証券の売却による収入	2	302
その他	△37	△73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△839	△2,140
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,021	△936
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,021	△936
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,927	△2,195
現金及び現金同等物の期首残高	12,794	10,870
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,867	8,674

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	ユニット ハウス事業	モジュール・ システム建築 事業	建設機械 レンタル事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	12,513	1,427	473	14,414
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	12,513	1,427	473	14,414
セグメント利益	1,855	160	48	2,063

(参考情報)

所在地別の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	日本	タイ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	14,365	48	14,414
所在地間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	14,365	48	14,414
営業利益又は損失(△)	2,067	△25	2,042

(注) 全社費用は、日本に含めて表示しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,063
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△21
四半期連結損益計算書の営業利益	2,042

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ユニット ハウス事業	モジュール・ システム建築 事業	建設機械 レンタル事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	12,421	1,979	544	14,944
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	12,421	1,979	544	14,944
セグメント利益又は損失(△)	1,532	304	△24	1,812

(参考情報)

所在地別の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	日本	タイ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	14,944	—	14,944
所在地間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	14,944	—	14,944
営業利益又は損失(△)	1,811	△19	1,792

(注) 全社費用は、日本に含めて表示しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,812
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△19
四半期連結損益計算書の営業利益	1,792

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。